令和５年度　児玉郡市自立支援協議会　（就労支援部会）

資料4-1

	事業項目	取組状況（令和６年１月現在）	結 果 及 び 評 価	令和６年度の計画（案）
1	地域の障害福祉の資源の把握	１．事業所の紹介　情報共有（10/16）	１．事業所を部会に招くことで、情報の確認や共有を行なうことができた。	１．地域の資源を共有できるよう、新規事業所については、継続して部会に招き相互に情報交換を行なっていく。
2	課題の抽出と対応策の検討	１．特別支援学校の就労アセスメント実施の調整（4/18） ２．地域課題における検討 ①交通弱者の現状について。（6/20）（12/19） ②障害者雇用代行ビジネスについて。（6/20） ③その他（8/22）	１．対象者8名に対し、学校の夏休み期間を利用して就労移行支援事業所２ケ所で実施した。 ２．現状の把握、情報共有を行えない、課題の洗い出しを行った。 ①児玉郡市内の交通手段の確認と情報整理。 ②各機関での状況把握と考え方の共有。 ③・一般高校に対しての障害者就労の連携。 ・住民への分かりやすい周知方法。 ・就労Ｂ型事業所の集まり、連絡会の検討。	１．アセスメント事業所との連携調整を図り、方法やあり方について協議を行っていく。 ２．各事業所、関係機関で抱える問題や地域で解決を図るための検討方法について協議を行い、より具体的な協議を進めていく。
3	地域の関係機関のネットワーク構築及び相談支援体制の充実と強化に関すること	１．相談支援部会との合同部会（10/16） 事例検討：勤怠の不安定な精神障害者の就労定着への課題。 2．部会共催「就業支援セミナー：問題解決トレーニング」の開催（10/27）	１．相談部会、就労部会メンバーが参加し、それぞれの立場から支援案を提案し、共有できた。 地域の関係機関とつながりをもつことができる機会となった。 2．相談の場面で活用できるスキルについて講義と演習を行ない、支援力向上を図った。	１．次年度の開催については相談支援部会と協議の上検討。関係機関とのネットワーク強化のため、合同部会等を継続していく。 2．参加対象者を拡大し、地域の支援力向上、ネットワーク強化に向けた機会を創出していく。
4	困難事例への支援のあり方に関する協議及び調整に関すること	１．事例検討 ①家族全体に支援を要するケース：過去の事例追跡（8/22）	１．グループワークにより本人を取り巻く関係者が取り組むべき課題や支援について検討を行った。 ①：家族の問題における情報の整理と統一、適切な情報提供の必要性。支援者間の共有と目標の一本化。	１．事例検討を通して、地域で取り組むべき課題等について共通理解を図り、解決に向けた協議を行うことができるよう継続していく。 また、過去の事例を振り返り、表面化する課題を掘り下げながら具体的な協議を行なっていく。